

【講座概要】

期 間：令和5年 8月19日・20日・26日・9月2日・3日の全5回
 定 員：先着順 60名を予定 *定員に達し次第締め切り
 費 用：受講料 10,000円（学生5,000円）
 防災士資格取得試験希望者は 別途 12,000円が必要（学生同じ）
 講 師：中越および全国で活躍する防災専門家、実務担当者、市民活動団体
 会 場：①長岡市消防本部（長岡市千歳1-3-100）
 ②中越メモリアル回廊 各施設（3日目：そなえ館・おらたる）
 申 込：インターネット（スマートフォン・パソコン等）
 右の QRコード にアクセスしてお申込み または、下欄に必要事項
 ご記入の上、FAX にてお申し込み下さい

募集期間：令和5年 7月1日（土）～ 令和5年 7月31日（月）締切



【ご注意】
 電話でのお申し込みは受け付けません

申込用QRコード・PC用URL
<https://ws.formzu.net/fgen/S69447748/>
 インターネット申込（スマートフォン・PC）共通

FAX 申込用 記入欄 [FAX 0258-39-5526]

フリガナ お名前	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
ご住所	年齢	
電話番号	職業	
Eメール	@	
防災士試験	<input type="checkbox"/> 受験希望 <input type="checkbox"/> 不要	※安全大学受講料とは別に教本代・受験料・登録料として12,000円が必要です

※1 講座につき2単位取得可能、全40単位中28単位以上の取得で卒業認定されます。
 ※修了見込の希望者には最終日に実施する「防災士資格取得試験」の受験資格が得られます。
 ※欠席した講座はDVDでの補習後、レポート提出で1単位取得可能です。
 ※会場①の長岡消防本部敷地内の駐車場は利用できません。
 （周辺のシビックコア地区無料駐車場をご利用ください）
 ※講座プログラム、受講会場は都合により変更となる場合があります。



長岡市オリジナル防災キャラクター
 「ボーサイダー」

■ 講座事務局

公益社団法人
中越防災安全推進機構
 〒940-0062
 長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト2F
 （長岡震災アーカイブセンターきおくみらい）
 電話：0258-39-5525・FAX：0258-39-5526
 担当携帯：090-8813-9770（事務局：赤塚）
 Eメール：kiokumirai@cosss.jp

■ 共催：長岡市（担当：危機管理防災本部）

令和5年度・第18期

中越市民防災安全大学

受講生募集



全5日間/ 20講座予定

（第1日目）8月19日（土） （第4日目）9月2日（土）
 （第2日目）8月20日（日） （第5日目）9月3日（日）
 （第3日目）8月26日（土）

地震災害をはじめ、風水害、雪害、土砂災害、原子力災害…
 災害は時と場所を選ばず発生し
 市民ひとり一人の「備え」の重要性は日々高まっています。

中越市民防災安全大学では、専門的な知識や技術を習得し、
 災害時に役立つ様々なノウハウを学び防災に関わる
 人材の裾野を広げるとともに、地域の防災活動や災害時に
 活躍できる人材を育成することを目的としています。

18期を迎える今期も感染症予防に十分に配慮しつつ
 参加が容易な5日間の短期日程で開講します。

中越市民防災安全大学を受講・卒業すると

- ◆卒業生には「中越市民防災安全士」として認定証が交付されます。
- ◆卒業生でつくる「中越市民防災安全士会」への入会が認められ、安全士のネットワークを形成しながら活躍の場が広がります。
- ◆中越市民防災安全士会では、地域の防災訓練などでの防災啓発活動のほか、応急手当講習やAED講習、講演会活動、市民・会員に向けた情報発信や研修イベントなどを企画しています。
- ◆本講座を修了することにより、全国的にも注目される「防災士」の受験資格が得られます。
※防災士資格取得に必要となる、教本代、受験料、登録料（12,000円）が別途必要です。
 ※希望者は本講座最終日の講座終了後に実施する防災士資格取得試験を受験できます。

令和5年度・第18期「中越市民防災安全大学」カリキュラム

日程・会場		テーマ・講師	講座	内容		
第1日 8/19 (土)	長岡市消防本部 4階研修室	9:00-10:30	オリエンテーション・講話 中越防災安全推進機構 諸橋 和行 中越市民防災安全士会 岸 和義		開校挨拶・オリエンテーション 中越市民防災安全大学への期待	
		10:40-11:10	地域防災の取り組み（Ⅰ） 前川地区防災会議事務局長 岸 和義	1	自主防災会による地域防災活動の実践	
		11:10-11:40	地域防災の取り組み（Ⅱ） 新栄町自主防災会会長 片岡 誠一	2		
		11:40-12:10	地域防災の取り組み（Ⅲ） 宝町自主防災会会長 吉沢 行雄	3		
		13:10-14:40	中越大震災からの復興とは何だったのか 兵庫県立大学 澤田 雅浩	4		震災復興が地域にもたらすものとは
		14:50-16:20	地域防災をUnlearn ～防災リーダーに求められる資質を再考～ 群馬大学 金井 昌信	5		防災教育の視点から考える防災リーダーの在り方
第2日 8/20 (日)	長岡市消防本部 4階研修室	9:00-10:30	災害現場と支援活動・災害ボランティア 中越防災安全推進機構 野村 卓也	6	災害現場での支援活動に求められること	
		10:40-12:10	河川防災・水難救助学 長岡技術科学大学 斎藤 秀俊	7	洪水、津波など水の災害から命を守るための考え方と行動	
		13:10-14:40	被災者への支援の取り組み、経験に学ぶ 福島大学地域未来デザインセンター 北村 育美	8	避難所・避難者に必要とされる支援の在り方とは	
		14:50-16:20	震災復興と伝承活動 中越メモリアル回廊アンバサダー 山崎 麻里子	9	被災地復興の記録、伝承活動に期待される役割	
第3日 8/26 (土)	—	9:00集合・出発 (ながおか市民防災センター前で集合・バス乗車)				
	おぢや震災ミュージアムそなえ館	9:50-10:40	おぢや震災ミュージアムそなえ館 施設見学 おぢや震災ミュージアム そなえ館	10	中越地震の経験と身近でできる防災対策	
	やまこし復興交流館おらたる 山古志地域見学	11:10-12:00	やまこし復興交流館おらたる 施設見学 やまこし復興交流館 おらたる	11	山古志の復興までの歩み	
		12:00-13:30	災害食体験（昼食） 中越市民防災安全士会 女性部	12	災害食・非常時に役立つバックッキング試食	
		13:30-15:00	山古志地域視察 中越防災フロンティア	13	中越地震時の山古志の体験談、山古志の被災状況	
—	16:00解散 (ながおか市民防災センター前で解散)					
第4日 9/2 (土)	長岡市消防本部 4階研修室	9:00-9:10	インフォメーション 中越市民防災安全士会		中越市民防災安全士会からのお知らせ	
		9:10-10:40	災害情報と避難 長岡技術科学大学 松田 曜子	14	自然災害への備え、避難行動の考え方	
		10:50-12:20	原子力・放射線の性質と「もしもの時」の備え方 東京大学 村上 健太	15	放射線とは何か、原子力の緊急時対応の基本	
		13:10-14:40	当事者意識と主体性を高める防災研修の進め方 長岡技術科学大学 上村 靖司	16	住民が主体的に行動する災害に強いまちづくりとは	
		14:50-16:20	「防災ワクチン®・ワークショップ」実践 中越防災安全推進機構	17	さまざまな分野が協働する防災ネットワーク構築に向けて	
第5日 9/3 (日)	長岡市消防本部 4階研修室	9:00-12:00	普通救命講習 長岡市消防本部 救急係	18	心肺蘇生法/AED使用法/ほか (防災士試験受講資格・必修講座)	
		13:00-13:50	長岡市の原子力防災 長岡市 原子力安全対策室	19	長岡市の原子力安全対策について	
		14:00-15:00	ほんねぼうさい 中越防災安全推進機構 諸橋 和行	20	これまでの防災の違和感から考えるこれからの防災	
		15:10-15:40	講話・卒業式 長岡市 危機管理防災本部 中越防災安全推進機構		卒業生への期待、講座振り返り・修了証授与	
		16:00-17:00	防災士試験（希望者のみ） 日本防災士機構		防災士試験ガイダンス 防災士資格取得試験	

※本カリキュラムは予定であり、予告なく内容が変更される場合があります。
 ※災害の発生、感染症の影響等で講座が予定通り実施できない場合はその都度ホームページ等でお知らせします。